

## 街の中で見つかる「すごい石」

西本昌司 [ 著 ]

日本実業出版社  
 発売日：2017年6月29日  
 定価：1,600円＋税  
 ISBN：978-4-534-05507-1  
 四六判  
 160ページ



ビルの外壁や地下街やデパートの内壁から城の石垣まで、何気なく見ているはずの街中にある石材。そこから、地質学の世界に誘おうとしている一般向けの普及書である。紹介者もお城の石垣については気になっていて、訪れる先々でチェックするのを楽しみにしている（それだけでなく石垣の裏のお城の土台まで気になるのが地質屋の性だが・・・）。

これまでも街の中での化石探しや、石材図鑑のような図書はあった。しかし単に見つける楽しみから一歩踏み込んで、石材の背景にある人と地球の“物語”を紹介する読み物となっている点が新しい。

まず、著名な建物に使われている石材（第1章）や、城の石垣（第2章）について、歴史的な背景とともに岩石が紹介されており、近代建築や城に興味がある人たちにも、岩石に目を向けてもらおうとする著者の意欲が現れている。以降、読み進めるに従って、日本列島形成や大陸移動などに関わる話が出てきて、地質学っぽくなっていく。それでも、深入りはせず、キーワードだけは残しておきなが

ら、さらりと流してしまうところが、普段から普及活動に専念している著者の雰囲気を感じさせる。

多くの人が手にとってもらえるよう、タイトルには「すごい石」という単純な表現を選んだと思われるが、まえがきに書かれている「街角地質学」や、わざと(?)表紙の帯の下に隠してある英語タイトル「Hidden Stories of Building Stones」が、まさに本書の内容を表している。一般の方はもちろん、地質学や石材業界などの関係者にとっても楽しめる本である。

ただ、少しだけ希望と意見を言わせて頂くと、価格との相談かもしれないが、写真が少し大きいと嬉しいし、本文にいろいろと地名が出てくるので簡便な地図があると、よりイメージが膨らんだかもしれない。また、緑色岩、斑岩などの現在では使わなくなった用語は避けてほしかった。

(産総研 地質調査総合センター研究戦略部 斎藤 真)